

【事例提供者向け】「尼崎市気付き支援型地域ケア会議」にかかるアンケート結果について

総数 56 件（事例提出地区 中央 8 件、小田 10 件、大庄 15 件、立花 11 件、武庫 8 件、園田 4 件）
CM 実務経験年数（平均 8.8 年 最長 19 年 最短 0.5 年）

問 1 会議の事前準備の（資料作成等）は大変でしたか。

☐ 全く大変でなかった 2 件 ☐ あまり大変でなかった 21 件 ☐ やや大変だった 30 件 ☐ とても大変だった 3 件

良かった点や改善すべき点などがあれば教えてください。36 件

【良かった点】

- ・資料作成時の再アセスメントによる課題の明確化。10 件
- ・提出資料が決まっている。1 件

【改善すべき点】

- ・普段、アセスメント時に使用しない資料の作成に戸惑った。9 件（採血データ、課題分析アセスメント、食事確認シート、興味・関心シート、歯科）
- ・資料数が多く、時間が掛かる。3 件

⇒会議の事前準備の（資料作成等）は「まったく大変でなかった」「あまり大変でなかった」が 23 件で約 4 割、「やや大変だった」「とても大変だった」が 33 件で約 6 割、と若干「大変だった」と感じた事例提供者が多く、資料の作成に一定の負担がかかっていることが確認された。

良かった点として、最も挙げられているのが、資料作成時の再アセスメントによる課題の明確化であり、これは「大変だった」と感じている人からの回答においてもみられた。

一方で、改善すべき点として、普段使用しない資料に戸惑ったことが挙げられている。

これについては、「介護予防ケアマネジメント課題分析アセスメントシート（尼崎市版）」を全国的に使用されている「課題整理総括表」変更することや、事例提供者向けマニュアルに様式集を掲載することで軽減したいと考えている。

また、資料数の多さについても挙げられている。これは任意資料の位置づけをマニュアルに明記することで、事例提供者自身が必要と考える資料を提供することにより負担感の軽減につなげたいと考えている。

問 2 会議中の応答に負担（圧迫感、ストレス等）を感じましたか。

☐ 全く負担を感じなかった 10 件 ☐ あまり負担を感じなかった 34 件 ☐ やや負担を感じた 9 件 ☐ とても負担を感じた 2 件

良かった点や改善すべき点などがあれば教えてください。31 件

【良かった点】

- ・専門職の意見なので負担にならない。10 件
- ・会議の雰囲気がサポータティブ。6 件

【改善すべき点】

- ・高度な質問を尋ねられると答えられない。1 件
- ・応答に負担を感じる事は少なかったが利用者様の検討して欲しい内容とはズレがあった。1 件

【その他】

- ・緊張した。（アイスブレイク含む）8 件
- ・専門的な助言は良いが、本人の好き嫌いもあり、助言として聞いても必ず生かせられないこともある。1 件

⇒会議中の応答に負担（圧迫感、ストレス等）は、「全く負担を感じなかった」「あまり負担を感じなかった」が回答の 8 割を占めている。また、良かった点としても、専門職からの意見、会議の雰囲気がサポー

ティブなことが挙げられており、負担感のない会議運営や良い雰囲気づくりは一定出来ているものと評価できる。

一方で、少数ながら、改善すべき点として、助言者からの高度な質問、CM の検討してほしい内容とのズレが挙げられており、司会者・副司会者等による、困難質問時の事例提供者へのサポートや、議論の軌道修正が必要だと考えられる。

このため、これらの点についてマニュアルへの記載を強化した。(①副司会の役割、②「特に助言が欲しい点、解決したい課題」欄を中心とした議論、③板書を活用した論点の明確化(ズレの予防)、④会議進行表への追記)

問3 会議の司会進行(タイムマネジメント、論点整理、まとめ等)は円滑にできていますか。

☐ とても円滑である 22 件 ☐ 概ね円滑である 31 件 ☐ あまり円滑でない 3 件 ☐ 全く円滑でない 0 件

良かった点や改善すべき点などがあれば教えてください。28 件

【良かった点】

・司会進行がスムーズで、わかりやすくまとめていた。23 件

【改善すべき点】

・自分自身が課題について、どの部分に助言頂きたいのかをもっとしぼり込んでおくべきだったと思う。1 件

・事例提供者の思う論点とずれていた時の修正が今後心配。事前に気付きケア会議の主旨理解できるものがあると思う。個別ケア会議との差別化をはっきり。1 件

【その他】

・司会進行はとてもスムーズであったが、その役割を務めるためには、ある程度のスキルも必要と思われる。事例提供者、助言者ともに発言にまとまりが無くなる時があるので、補完してもらえると心強く感じる。1 件

・ケースの内容によっては発言者が偏る傾向になるかもしれない。1 件

⇒会議の司会進行(タイムマネジメント、論点整理、まとめ等)は、「とても円滑である」「概ね円滑である」が回答の 9 割以上を占める。

良かった点としても、司会進行(タイムマネジメント、論点整理、まとめ)について、好評な記述があった。

改善すべき点としては、問2と同じく論点のズレについての意見がある。

問4 会議中の質問、助言はわかりやすくできていますか。

☐ とてもできている 15 件 ☐ 概ねできている 33 件 ☐ あまりできていない 5 件 ☐ 全くできていない 0 件

良かった点や改善すべき点などがあれば教えてください。27 件

【良かった点】

・各専門職からの質問、助言は丁寧でサポータティブだった。16 件

・事例の読み込み(予習?)が確実にされていたこともよくわかり、嬉しかった。1 件

【改善すべき点】

・質問が長く何を聞かれているのかがわかりにくい事がある。1 件

・欲しい助言をあまり頂けなかった。1 件

【その他】

・一人の人としての視点や意見も併せて聞いてみたい。1 件

・専門分野では無い質問等もあった。1 件

・意思決定できる方への CM としての助言はちょっと困難。1 件

・書面だけでは見えない部分も有るので、専門家からの助言に少し違和感を感じた。2 件

⇒会議中の質問、助言はわかりやすく、「とてもできている」「概ねできている」が回答の 9 割以上を占め

る。

良かった点として、助言者がサポータータイプが多数。

一方で、改善すべき点として、少数ながら、質問の分かりにくさ、欲しい助言との相違が挙げられている。この点も問2、問3と共通する課題である。

問5 会議の中で印象に残った助言（質問や地域特性の紹介などを含む）があれば教えてください。44件

【地域特性の紹介】10 件

- ・長年住み慣れた方への会話になり、又、新しく住んだ方には昔はこうだったと話すことができる。
- ・数年杭瀬でお仕事をしていたが、しっかりと地域特性をつかんでいなかった。説明によってとてもよくわかった。
→高齢化率 43%と非常に高いのでびっくりした。
- ・地域の見守り活動の有無、サロンや百歳体操など。
- ・地域資源を紹介されるが、手段・方法がない。
- ・インフォーマルサービスの提案があった事。ただ実際に地域の資源を利用するととなると家族等の協力が必須。受け入れ側の体制づくりが必要。

【助言】27 件

- ・専門職同士が互いに相反した意見が出た時に、互いの専門知識や意見を認めながらも、自らの専門分野に立った意見を話していたのを見た時に、互いの意見の違いや 1 つの物事に対する物の見方の違いもついて議論ができ、より良い方向を見出そうとする話しやすさ、雰囲気の良いさを感じた。
- ・薬と食事の関係性について専門職からの助言があり、とても勉強になった。
- ・病気に対する対応助言(認知症の確定診断、お薬手順の整備、糖尿病食対応。薬の処方、モーニング喫茶店での第三者見守り等)。
- ・「菓子パンをウィンナー入りのロールパン等に変更」等、具体的で本人に提案しやすい助言をいただいた。本人に受け入れてもらいにくそうな助言の中、「一人で黙々とできる趣味もいいのか」等、本人に共感してもらいやすそうな助言があった。
- ・立場違えば助言も全然違うので、それを CM1 人で把握する大変さも感じた。今後継続するのにハードルが上がらないようにしてほしい。

(主任 CM)

- ・モニタリングを行う時に確認しなければならない内容を再認識できた。

(歯科衛生士)

- ・誤嚥性肺炎のリスク軽減の為に、義歯の洗浄やうがいの声掛けを行う。

・口腔ケア

(リハ職)

- ・リハ専門職の同行訪問支援について。
- ・カリウム値が高くなり過ぎると、筋力低下からふらつきの原因になる為控えめに。
- ・外出できることはメリット 自宅内での役割の提供が可能か、デイでの活動などを持ち帰る。
- ・リハビリの視点、指標について教えてもらい、退院時カンファなど病院への問いかけが変わってくると感じた。
- ・100 円均一のサポーターなどでも膝の痛みがましになるので活用できること。
- ・変形性膝関節症で膝の痛みがある利用者の方に関して膝の負担軽減とリハビリの加減について迷いがあったが、動かすことも必要と助言を頂けて参考になった。
- ・円背が嚥下機能に影響するという視点を見落としていたので、反省できた。
- ・リハビリの必要性・重要性。
- ・訪問リハビリ(OT)より自助具助言方法は失念していたので気づきが出来た。
- ・転倒予防のために洗濯～干すまで一連の注意すべき動きや負担かけない様に道具を用いる方法等の助言。

(管理栄養士)

- ・食事指導に役立ちそうな資料の写しをいただけた。それを使って助言ができた。
- ・事例についてしっかり考えてくれ食事のメニューやカロリー等自作してもらい対象者に渡す事ができた。
- ・野菜ジュースは補助飲料として飲むもの。
- ・野菜(1 日 300~350 グラム)・貧血があるので、タンパク質(1 食 1 品)の摂取を行う。
- ・栄養バランスについて。
- ・10 食品群チェックシートと利用者様と確認しながら今の食事摂取がわかりやすく理解ができた。

(薬剤師)

・薬の副作用。

(生活支援コーディネーター)

・緊急通報システムについて、自宅に居る時は施錠する事はなく、携帯電話の購入も考えておられますが、唯一連絡が取れる妹様の連絡先を改めて確認ができた。(電話番号が変更されていた)

【認められる・肯定してもらう】4 件

・「大変ですがちゃんとむきあっておられますね」と肯定してもらえたこと。

・熱心に状況等聞いて頂き「大変ですね」との言葉に少し癒された。

・事例提供者に対して「頑張ってますね」って認めて頂くのを専門家の方々から直に聞けるのは本当に嬉しい事だと膨張させて頂いた。

・否定されるような言葉もなく、今後の対応していく自信が持てた。

【否定された】1 件

・自分が見たことは「違うはず」と否定されてしんどかった。

⇒生活支援コーディネーターの地域特性の紹介が助言者向けと同様に、大好評。その他の助言者の具体的な助言も挙げられている。

具体的な助言以外に、「認められる・肯定してもらう」ことが励みになっているが、他方で「否定される」と苦しい思いをされている。このため、マニュアルに質問・助言にあたっては「支持的な態度」で臨むことと、「否定的な発言をしないこと」を明記した。

その他、様々な専門職の意見を CM 1 人で受け止めるのが大変との意見もあった。これについてはケア会議の進行の中でも感想を求める際には「どれが取り組みやすいと思いますか。」と示唆しているが、マニュアルにも「すべて取り組む必要はない」「事例対象者との関係を第一に考え、あせらずに無理のない範囲で取り組む」ことを明記した。

問 6 会議全体を通じて、ご意見やご感想があれば教えてください。40 件

【気付きが多く、有益な会議】16 件

・困難な事が生じた時は悩まず包括に相談。他者の色々な意見、方策をさく事が出来る。1 件

・題名のみでも居宅事業所に FAX などで案内頂けたら興味のある事例は参加してみたいと思う。1 件

・自分自身を思い込みから脱却出来る良い機会だった。1 件

【モニタリング】3 件

・3 か月のモニタリングでは結果が出ないこともある。3 か月以降に動きがあった内容も発表できると、助言者も効果を実感しやすいのではないのでしょうか。1 件

・モニタリングで明らかな変化がないと申し訳なくなる。プレッシャーを感じる。2 件

【助言者】2 件

・事例内容にあわせた助言者の検討。1 件

・医療の部分も大きく、看護師さんや医師等のご意見が頂ければ、さらに良かったと思う。1 件

【検討時間】1 件

・事例によっては検討時間を多少長くしたり、短くしたりしてもよいのではないかと思います。1 件

【提出資料】1 件

・数値化されている採血データやリハビリのデータ、処方薬などはご本人の状況を確認に知れるものなので普段から情報収集している。準備が大変と思わずに適確な助言をもらうためには提出すべきと思う。1 件

【開催頻度】1 件

・開催頻度を半年に 1 回くらいがいいのではないかと。1 件

【板書】1 件

・フリーのホワイトボードではなく、項目(質問、助言)等に分けておいた方がよいのではないかと感じた。1 件

【議事録】1 件

・作成希望。1 件

【今後の連携】1 件

・今後の連携も図れるような具体的な情報があればとも思う。(今年度で栄養士が作ってくれたリスト等良かったと思う)1 件

【課題解決型地域ケア会議関連】2 件

・自立支援に向けた検討となる様に権利擁護色が強くなりすぎないようにと思った(個別ケア会議と同じようにならないように)1 件

・気付きのケア会議より困難事例解決のケア会議開催を増やして頂きたい。困難事例は CM へ精神的負担も大きく地域でも解決への期待が大きいと感じる。1 件

⇒「気付きが多く、有益な会議」との意見が最多。

その他に、モニタリングで改善が見込められないとプレッシャーを感じるという意見もあり、モニタリングへのプレッシャーは問 5 の「CM 1 人で受け止めるのは大変」と共通する課題である。

今後の連携が図れるような具体的な情報(栄養士が作成したリスト)などが挙げられており、運営マニュアルに「事例提供者への提案には資料の提供も有効な手段の一つである」ことを明示した。

以 上